

**創立 120 周年シンポジウム**  
**『アルツハイマー型認知症の治療・予防戦略—研究・治療・ケアの最前線から』**  
**プログラム**

日 時：平成 23 年 10 月 1 日（土） 11：00～17：30（予定）  
 会 場：日経ホール（千代田区大手町 1-3-7 日経ビル 3 階）

時 間	演 目	講 師と内容
10：30	開 場	
11：00	開 演	
11：00～11：08	DVD 上映	当財団の紹介
11：08～11：23 (15 分)	主催者挨拶	山田匡通 （当財団理事長）
11：23～11：28 (5 分)	オープニング トーク	松下正明 （東京都健康長寿医療センター理事長、東京大学名誉教授）
11：28～12：13 (45 分)	基調講演	遠藤英俊 （国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長） 「アルツハイマー型認知症の早期診断と治療」
12：13～13：15 (62 分)	休 憩	
13：15～14：00 (45 分)	基調講演	岩坪 威 （東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 教授） 「アルツハイマー型認知症—病因探究から根本治療へ」
14：00～14：45 (45 分)	基調講演	杉本八郎 （京都大学大学院薬学研究科 客員教授） 「アルツハイマー型認知症根本治療薬開発の可能性を探る—創薬の現場から」
14：45～14：55 (10 分)	休 憩	
14：55～15：40 (45 分)	基調講演	諏訪さゆり （千葉大学大学院看護学研究科訪問看護学教育研究分野 教授） 「アルツハイマー型認知症のケア—病者の尊厳を守る」
15：40～16：25 (45 分)	基調講演	朝田 隆 （筑波大学臨床医学系精神医学 教授） 「アルツハイマー型認知症の予防の可能性」
16：25～16：35 (10 分)	休 憩	
16：35～17：25 (50 分)	討 論	司 会：松下正明 回答者：遠藤英俊、岩坪 威、杉本八郎、諏訪さゆり、朝田 隆 （講演順）
17：25～17：30 (5 分)	クロージン トーク	松下正明
17：30	終 演	

## 創立 120 周年シンポジウム

### 『アルツハイマー型認知症の治療・予防戦略—研究・治療・ケアの最前線から』

財団法人東京顕微鏡院

#### 講師プロフィール（敬称略）

##### ○司会

- ・松下正明（東京都健康長寿医療センター理事長、東京大学名誉教授）

1937 年生まれ。東京大学医学部精神医学講座教授、東京都精神医学総合研究所所長、東京都立松沢病院院長・同所長兼任を経て現職。専攻は老年精神医学、神経病理学、司法精神医学、精神医学史。著書に『精神医学キーワード事典』（中山書店）『みんなの精神医学用語辞典』（弘文堂）『高齢社会と認知症診療』（弘文堂）など多数。

##### ○基調講演「アルツハイマー型認知症の早期診断と治療」

- ・遠藤英俊（国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長）

1958 年生まれ。1982 年滋賀医科大学卒。1987 年名古屋大学医学部大学院修了。認知症専門医で、近年、さまざまな認知症予防プログラムの開発・研究を主宰し、特に回想法の標準化、地域への普及に力を注ぐ。著書に『認知症・アルツハイマー病がよくわかる本』（主婦の友社）など。NHK 出演多数。

##### ○基調講演「アルツハイマー型認知症—病因探究から根本治療へ」

- ・岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 教授）

1960 年生まれ。1984 年東京大学医学部卒業。アルツハイマー病 (AD) の分子病態を  $\beta$  アミロイド (A $\beta$ ) などの分子に着目して研究するとともに、J-ADNI 研究による治療薬の臨床評価法確立をすすめている。2009 年アルツハイマー病研究に貢献した研究者に授与される米国「メトライフ医学研究賞」、2010 年米国アルツハイマー病協会「ヘンリー・ウィズニェフスキ記念賞」を受賞。

##### ○基調講演「アルツハイマー型認知症根本治療薬開発の可能性を探る—創薬の現場から」

- ・杉本八郎（京都大学大学院薬学研究科 客員教授）

1942 年生まれ。1956 年に東京都立化学工業高校卒業後、エーザイ株式会社入社研究所（合成）研究員。会社に勤務しながら、中央大学理工学部に通い、1969 年中央大学理工学部工業化学科卒業。1997 年世界初アルツハイマー型認知症治療薬『アリセプト』を開発。1998 年 4 月英国ガリアン賞特別賞受賞、同年 5 月化学・バイオつくば賞受賞。2002 年恩賜発明賞受賞。

##### ○基調講演「アルツハイマー型認知症のケア—病者の尊厳を守る」

- ・諏訪さゆり（千葉大学大学院看護学研究科訪問看護学教育研究分野 教授）

1964 年生まれ。1994 年東京大学大学院医学系研究科修了。認知症ケアマネジメントに関する研究や在宅ケアシステムにおける連携促進に関する研究を行う。認知症ケアに関する研究と実践の専門家。著書に『認知症のケアとお薬のガイドブック』（ワールドプランニング）『認知症ケア研修ブック—12 の事例から学ぶ大切なこと』（全国社会福祉協議会）など。

##### ○基調講演「アルツハイマー型認知症の予防の可能性」

- ・朝田 隆（筑波大学臨床医学系精神医学 教授）

1955 年生まれ。1982 年東京医科歯科大学医学部卒業。アルツハイマー病を中心とする痴呆性疾患の遺伝疫学的な研究とプロテオミクス研究を中心に、痴呆性疾患の基礎と臨床に携わる。著書に『家族が認知性と診断されたら読む本』（日東書院本社）『こうして乗り切る、切り抜ける認知症ケア—家族とプロの介護者による究極の知恵袋』（新興医学出版社）など。